

# 森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業（執行委任：農林水産部治山林道課）

福本浩士

2012年5月7日に四日市市桜町、同月8日に志摩市大王町波切の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、林業研究所構内の網室に搬入した。採取林分の概況は表1のとおりである。マツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため割材調査を成虫が脱出するまで行い、成虫の脱出消長調査を7月下旬まで実施した。その結果は表2のとおりである。

また、カシノナガキクイムシによる森林被害について、農林水産部治山林道課、各農林（水産）商工環境事務所と協力して被害分布調査を実施した。

表 1. 採取林分の概況

場 所	標高 (m)	方位	樹種	林齢 (年生)	成立本数 (本/ha)
四日市市桜町	200		アカマツ	17	1600
志摩市大王町波切	20		アカマツ	30	1250

表 2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調査地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
四日市市	(5/11)	5/29	6/4	6/11	6/13	6/21	7/17
志摩市	(5/11)	5/23	6/5	6/12	6/18	6/27	7/18

脱出成虫数 四日市市 98 頭、志摩市：142 頭  
蛹化初認日が特定できなかったため、第1回調査日を蛹化初認日の参考値として記載した